

# 櫻だより



氷見市立北部中学校

校長室から

令和5年6月19日

## 「あなたは何を守りますか？」

北陸地方も梅雨入り。今日は爽やかな風が吹いていますが、不快指数が上がると、なんだかスッキリしないですね。自分なりのスッキリ方法を見つけて、梅雨を乗り切っていきましょう。

では、私なりのスッキリ方法は？

最近、図書室に入った新刊を読んで爽やかな感動を味わうことですかね？

先々週は「メロスの翼」を読んで涙。多くの人に面白かった、感動したと薦めた。

先週は、「サクラの守る街」のタイトルと、桜満開の表紙絵に惹かれ手に取った。

「サクラ」に勝手に親近感をもち、「私の守る街はどんな街だろう」と読み始めた。

が、「サクラさん」が守っている街ではなく、サクラ警備保障が守っている街の話だった。

「あなたは何を守りますか？」と、警備保障の人事部次長は面接の時に必ず質問する。

ある者は「人間としてのプライド」、ある者は「正義」と答える。

退職を勧告された85歳の元中学校体育教師の警備員は「最低限の生活だ」と答えた。

中学校退職後に奥さんと一緒に子ども食堂を運営し、家計は火の車になったとか。

元体育教師と教え子とのやりとりにまた涙。最近感動の沸点が低いようだ。

「正義」と答えた女性が「誰を守るべきか」と、うじうじと考えすぎて悩んでいると、

「筋トレは筋肉が壊され修復するときに増強されるわけですが、それって頭や思考にも言えるんです。考えれば考えるほど、考える筋肉は増強します。失敗や経験を栄養にして。

だから考えて損はない。うじうじしててもいいんです。」と人事部次長が励ます。

なるほど、うじうじ考えることも頭や思考が強くなるための一歩と思えば前向きになる。

さて、「あなたは何を守りますか？」を自分自身に問うてみる。

プライベートであれば「家族」「これから歩む道(未来)」などでしょうか？

仕事であれば…。

学校経営研修会の危機管理研修において、県東部の校長が「学校が守るべきもの」として、

「いのち、信頼、日常の営み、これに尽きる」と、発表された。

生徒を預かり、しっかり活動して無傷で帰す、「平穏無事の提供」が最も大切な仕事とも。

確かに、毎日登校してくる生徒を責任をもって預かり、毎日行われる授業をしっかりと行うこと、この当たり前の提供が大切だと思う。

「守るべきもの」を守っていくためには、あつてはならない最悪を想定し、危機回避のための最大限の努力を行い、万が一危機が起きたときの最善の対処を考えておかなければならない。

そして、平穏無事な日常を守るとともに、子供たちの歩む未来が持続可能になるよう、今できることをしっかりと行っていきたいと思う。

さてさて、「あなたは何を守りますか？」と聞かれたら、どう答えますか？